



野生植物研究所だより



網地島の遊歩道を整備する会より「網地島の地域資源再発見研修会(野生植物編)」の講師の依頼を受け、9月9日～10日の2日間、網地島に行ってきました。今回の観察会で再確認した、網地島全体に見られるタブノキとウミネコ・アオスジアゲハとの関係について、ご紹介いたします。

● タブノキの種子の散布に係わるウミネコ ●

これまで、ウミネコがタブノキの果実(タブノキは果皮が多肉で水分の多い液果)を食べるということは分かりませんでした。今回、網地島での観察会の折、路上に落ちている種子を参加者の方にウミネコ(当人はカモメと言っていました)が食べたタブノキの実であると教えていただきました。また、ウミネコが、葉が密生したタブノキの枝の上にとまり、タブノキの実を啄んでいるのをよく見かけるとも話していました。



ウミネコ



タブノキの果実(液果)



ウミネコの糞から出てきたタブノキの種子

網地島では、島全体いたる所にタブノキが見られますが、ウミネコが種子の散布に大きく関わっているのだなということも分かりました。果実のなっていたタブノキがあったので、その実を食べてみましたら、とても甘いのです。ウミネコが食べるのもなるほどなと思いました。

● クスノキ科 タブノキ … クスノキ科は、アオスジアゲハの食草 ●



ヤブガランの花に何十匹と群れるアオスジアゲハ

網地島を訪れると、アオスジアゲハの多さには驚かされます。夏に花が咲く、ノブドウやヤブガラシの所には何十匹ものアオスジアゲハが群れているのをよく見かけることがあります。このアオスジアゲハは、卵をクスノキ科の葉に産みつけます。アオスジアゲハの幼虫の食草はクスノキ科の種類ですが、島に生育するクスノキ科の樹林と言えば、タブノキとオオバクロモジです。

島全体に見られるタブノキ、その葉を食べて育つアオスジアゲハ・・・網地島にアオスジアゲハが多く見られるのも納得のいく



タブノキの葉の上のアオスジアゲハの幼虫

ところです。今回、運良く、アオスジアゲハの幼虫の写真も撮ることができました。

【連絡先】 〒989-6252 宮城県大崎市古川荒谷字簀ノ子町12-2 ☎ 0229-28-3601 FAX 0229-28-4452

Blog: <http://plaza.rakuten.co.jp/wakichi/>

E-mail: nagaguduwakichi@yahoo.co.jp

URL: <http://www.wakichi.com/>